I.　2022年度活動のまとめ

1. 第7次中期計画に沿って、「消費者が一人ひとりの価値観を持ってくらせる、福井らしい地域社会の実現へのお役立ち」を理念として、行政を中心に地域の諸団体、市民グループ、福井県民生協とも連携しながら、「消費者市民社会とSDGsの実現」、「福井の地域にあったくらし方提案」をすすめました。
2. 経常収益は福井県からの委託料収入が減少し前年を下回りましたが、計画は上回りました。（実績5,582千円、計画比101.6％、前年比82.8％）経常費用は、福井県からの委託事業の減収に伴い経費抑制（実績5,546千円、計画比101.0％、前年比80.1％）を行い、経常増減額は計画・前年を上回りました。（実績41千円、計画差+36千円、前年差+221千円）
3. 18年目となった福井県消費生活センター事業である「消費生活セミナー」および8年目の消費者教育担い手養成講座「くらしの基本セミナー」の受託事業は、ハイブリット形式（実参加とオンライン参加の同時開催、以下略）で開催しました。「消費生活セミナー（293人）」、「通信セミナー（514人）」、「担い手養成講座（177人）」、「鯖江市食の安全安心講座（143人）」と全体で1,000人を超える参加がありました。
4. SDGsとエシカル消費の取り組みを行いました。福井県からのエシカル消費促進事業の委託業務は4年目となり、持続可能な社会の実現に向けての普及啓発活動の推進を今年度よりオンラインを活用して取り組みました。
5. 福井の地域にあったくらし方提案として、男性の食の自立や社会参加を目的とした「男の料理」、若い世代へのくらし方提案「あなたの料理」、子育て層を対象とした「食」に関する講座や不安や悩み相談会を開催しました。また地域からの要請に応えて、食や環境をテーマとした「出前講座」への対応を行いました。
6. 「消費者のくらし向きに関するアンケート」調査に2回取り組み、県民の消費マインドの傾向を発表し、報道機関を通して広く県民に情報発信することができました。

	企画数(回)			参加人数(人)				
	実績	前年実績	前年比	計画	実績	前年実績	計画比	前年比
■消費者セミナー	18	22	81.8%	870	1,047	1,086	120.3%	96.4%
通信セミナー参加者数	-	-	-	600	514	596	85.7%	86.2%
通信セミナー修了者数	-	-	-	480	434	470	90.4%	92.3%
消費生活セミナー	4	10	40.0%	120	293	403	244.2%	72.7%
担い手養成講座(延べ参加人数)	10	10	100.0%	150	177	143	118.0%	123.8%
鯖江市食の安全安心講座	4	2	200.0%	120	143	70	119.2%	204.3%
■エシカル消費推進事業(オンライン)	4	1	400.0%	400	753	1,000	188.3%	75.3%
■ふくい・くらしの研究所独自講座	1	1	100.0%	-	100	50	-	200.0%
■ハーツきっず食育講座	13	13	100.0%	180	145	148	80.6%	98.0%
■出前講座・講師紹介	7	4	175.0%	240	201	144	83.8%	139.6%
■男の料理など	28	18	155.6%	180	147	109	81.7%	134.9%
合計	71	59	120.3%	1,870	2,393	2,537	128.0%	94.3%
■会員数	-	-	-	270	243	246	90.0%	98.8%
個人会員	-	-	-	245	220	223	89.8%	98.7%
団体会員	-	-	-	25	23	23	92.0%	100.0%

II. 重点的な取り組みのまとめ

1. 消費者市民社会の実現を目指して

（1）消費生活セミナー（福井県消費生活センター委託事業）

消費生活セミナーは、9月に親子講座をリアル方式で1企画（前年差△2企画）、10月～11月に「くらしの講座」をハイブリット形式で3企画（前年差△4企画）、開催しました。（参加人数293人、計画比244.2%、前年比72.7%）福井県からの委託事業が縮小となりましたが、「くらしの講座」をハイブリット形式（前年は全企画オンライン）で開催したことで、1企画当たりの参加人数は伸長しました。（1企画当たり参加人数73人、前年差+32人）

開催日	講座名	参加数
9/24（土）	【親子講座】 「マイクロスコープを使って身近なものを拡大観察しよう」	31人
10/8（土）	【くらしの講座】 「人生100年時代　知らないと損する！？資産運用のメリット・デメリット」	88人
10/28（金）	【くらしの講座】 「あの手この手の消費者トラブル～クイズで賢く学びま笑～」	90人
11/12（土）	【くらしの講座】 「キャッシュレス・デジタル社会の加速！今さら聞けない新しお金の流れと形、その付き合い方」	84人
消費生活セミナー　合計		293人

（2）消費生活通信セミナー（福井県消費生活センター委託事業）

くらしに関わる学習の場として消費生活通信セミナーに取り組みました。（受講者数514人、計画比85.7%、前年比86.2%、修了者数434人、計画比90.4%、前年比92.3%）一般受講者数は前年を下回り広報活動に課題を残しました。（一般受講者数64人、前年比68.8%）一方、前年に引き続きオンラインでの受講に取り組み、前年を上回る参加をいただきました。（オンライン受講者65人、前年比216.7%）

（3）消費者教育担い手養成講座（福井県消費生活センター委託事業）

次世代の消費者教育の担い手育成を目的に、10回連続講座をハイブリット形式で開催しました。（のべ参加人数177人、計画比118.0%、前年比123.8%）受講者25人（計画比125.0%、前年比113.6%、オンライン13人、会場12人）、修了者数は見逃し配信効果もあり17人（計画比113.3%、前年比130.7%）となりました。消費者団体の代表者に団体の活動紹介をしていただき、受講生に消費者団体活動について興味をもっていただく機会をつくり、2人が消費者団体へ加入されました。

開催日	講座名	参加数
9/5（月）	【開講式】福井県消費生活センター　柳原所長　ご挨拶 【環境にやさしい消費】「私たちの行動が未来をつくる　できることからはじめよう」 【団体との交流】福井市くらしの会	17人
9/12（月）	【食生活に役立つ基礎知識】「これだけは知っておきたい　食の安全安心とSDGs」 【団体との交流】敦賀市消費者連絡協議会	20人
9/19（月）	【変化する家計の常識】「原油や穀物価格の高騰　私たちのくらしへの影響は？」	19人
9/26（月）	【ウエルビーイングとくらし】「つながりは幸せの源　より幸せに生きるには」	17人
10/3（月）	【災害時の地域コミュニティ】「子ども高齢者への備え　安心して暮らせる地域づくり」 【団体との交流】勝山市消費者団体連絡協議会	18人
10/10（月）	【ネット時代の心構え】「巻き込まれないための対策　ネットの正しい使い方」 【団体との交流】越前市消費者グループ連絡協議会	18人

開催日	講座名	参加数
10/17(月)	【商品テストを体験しよう】「センターの役割について学ぼう　食品の塩分濃度測定」	15人
10/24(月)	【身近なトラブル　製品事故】「あなたにも事故は起こる？身の回りの安全の再点検を」 【団体との交流】鯖江市くらしをよくする会	17人
10/31(月)	【聴く力＆伝える力をつける】「つながろう、身につけよう！良好な人間関係を築くスキル」	20人
11/7(月)	【まとめ・消費者市民社会】「みんなで作ろう！消費者が主役の社会」 【閉講式】福井県消費生活センター　柳原所長　ご挨拶 【団体との交流】福井県消費生活研究会	16人
合計		177人

(4) 福井県エシカル消費促進事業(福井県委託事業)

県民へのエシカル消費普及啓発を目的に「エシカルチャレンジ2022」に取り組みました。福井県からの委託事業も4年目となり、今年度よりオンラインを活用した取り組みに変更し、計画を上回る参加をいただきました。(のべ応募人数753人、計画比188.3%、前年比75.3%、フォロワー数533人)

(5) 鯖江市食の安全安心講座(鯖江市委託事業)

鯖江市より「食の安全安心講座」を受託し取り組みました。(参加人数143人、計画比119.2%、前年比204.3%)親子体験講座を2企画(46人)、鯖江高校の生徒を対象とした出汁の文化を通じたSDGsの体験講座を1企画(30人)、ウイルスに負けない食生活をテーマにした座学講座を1企画(67人)開催しました。

開催日	講座名	参加数
7/22(金)	【食の安全安心講座(親子体験講座)】 「手作りジャムに挑戦！ジャムの世界をのぞいてみよう」	29人
7/27(水)	【食の安全安心講座(親子体験講座)】 「今夜のメニューはエシカルカレー　お買い物ゲームにチャレンジしよう！」	17人
11/16(水)	【食の安全安心講座(体験講座)】 鯖江高校「出汁の文化を通じてSDGsを学ぼう！」	30人
2/25(土)	【食の安全安心講座(座学講座)】 「日々の食事で免疫力アップ！ウイルスに負けない食生活」	67人
合計		143人

2.　福井の地域にあったくらし方提案

(1) 食育講座

コロナ禍で人数制限のある中、乳幼児をもつ保護者を対象に、生協の子育て支援センター　ハーツきっずで「食育講座」を13回行い、のべ145人の親子が食生活に関するさまざまな内容を学びました。(計画比80.6%、前年比98.0%)また、食の悩みや不安相談などに対応し、子育て支援活動に取り組みました。

(2) 料理を通したくらし方提案

男性の食の自立と社会参加を目的とした料理教室「男の料理」を福井地域で開催しました。(23企画、128人)また、若い世代へのくらし方提案として「あなたの料理」を2回、敦賀地域の会員拡大を目的とした料理教室「おとなさま cooking」を2企画開催しました。(全体参加人数147人、計画比81.7%、前年比134.9%)

(3) 出前講座

子どもクラブを対象に「食」をテーマに2企画(あわら市消費者センターからの依頼)、「SDGs」や「エシカル消費」をテーマに5企画(小学校や公民館からの依頼)、出前講座に取り組みました。(対象人数201人、計画比83.8%、前年比139.6%)出前講座のチラシを作成しホームページ等で案内するとともに、講師リストを作成しました。

（4）総会記念企画

第25回総会記念企画として、快眠セラピストの三橋美穂氏をお迎えし、「心もからだもスッキリ！快適睡眠術」と題して、ハイブリット形式で講演会を開催しました。（参加人数100人）

3.　情報ネットワーク

（1）情報誌・通信・ホームページ

① 「情報誌くらなび」は年2回発行、福井県民生協の総代向けに「くらなび通信」を毎月発行しました。また、ホームページやインスタグラムなどで、各種講座の案内や報告を行いました。エシカルチャレンジ含めたフォロワー数は1,241人となりました。（計画比155.1％、前年比195.4％、当研究所のみフォロワー数735人、前年比115.7％）

② 会員数は243人（団体会員23含む）と計画・前年を下回りました。（計画比90.0％、前年比98.8％）

③ マスコミ報道は8件と前年を下回りました。（前年比57.1％）「消費者のくらし向き調査」以外の報道案内に課題を残しました。

（2）消費者のくらし向き調査

年2回、消費者のくらし向きに関するアンケート調査（17年目）に取り組み、県民の消費マインドの傾向を発表し、報道機関を通して広く県民に情報発信することができました。